

平成28年度 第1回吉井地域審議会における質疑一覧 [平成28年5月25日開催]

1 吉井地域の事業推進状況に係る質疑

事業名	NO	質 疑	回 答
多胡碑周辺重要遺跡範囲確認調査事業	1	多胡郡正倉跡が確認されたが、このことで矢田岩崎線の道路建設への影響を伺いたい。	正倉跡は、国道254号バイパス吉井北通り線の計画線上の岡地区にあり、矢田岩崎線より東側に位置していることや、矢田岩崎線の計画線上では、これまで郡衙遺跡に繋がる遺溝は確認されていないため、矢田岩崎線建設に影響ないものと考えている。
	2	上野三碑ボランティア会が設立されたようだが、吉井地域には郷土資料館友の会等もあるので、それらと連携して上野三碑を盛り上げてはどうか。	上野三碑のボランティアに関しては、広く市民に公募を行い、多くの応募を得て4月24日に「上野三碑ボランティア会」として発足した。吉井郷土資料館友の会も歴史のある団体であり、同じ文化財愛護を目的とする組織として、連携について検討していきたい。
吉井中央公園(仮称)整備事業	1	具体的にどのような施設が出来るのか、また施設の位置関係を伺いたい。	防災機能を有するレクリエーションゾーンを備えた公園として、防災性の強化と地域コミュニティの活性化を図りながら、市民生活の安定に努めるよう整備していく。 整備する内容としては、子供からお年寄りまで使える多目的広場や、野球場、それに伴う必要な施設として管理棟や駐車場、備蓄倉庫などを予定している。今年度は、用地買収が完了する予定である。
水道水安定供給構想推進事業	1	吉井地域の一部地域では夏になると、塩素の臭いがするなどの声を耳にするので、安定した水の供給について伺いたい。	塩素臭は、水道水の消毒のために注入している次亜塩素酸ナトリウムが要因である。水道法で注入が義務付けられているが、夏の気温が高いときには塩素臭が強く感じられる場合もある。水道局では、水道管の末端の塩素濃度を毎日計測して、安全で必要最小限の注入量に抑えて、出来るだけ塩素臭を感じないように努めている。
	2	現在の下水道区域は、費用対効果を考えると効果が乏しい地区まで、下水道が整備されているように見受けられる。また下水道に流すと、水は有効に利用することも出来なくなるので、それらを踏まえて合併浄化槽等で対応し、計画を見直してはどうか。	下水道区域は認可を受けた上で推進している事業であるが、今後意見を踏まえて計画等考えていきたい。

事業名	NO	質 疑	回 答
水道水安定供給構想推進事業	3	吉井地域では、民地内に本管が布設されている地域もあるようですが、解消に向けて今後の計画を伺いたい。	現在、民地内に布設されている水道管は、ほとんどが昭和40年代以前に布設された老朽管である。そのなかから漏水の多い路線、老朽化の影響が大きい箇所から毎年、官地に布設替工事を行っている。予算の関係もあるが、出来る限り布設替工事を行っていく。

2 その他の質疑

事業名	NO	質 疑	回 答
山種記念図書館の改修について	1	山種記念図書館の改修について、具体的な計画内容を伺いたい。	1階の開架スペースを広げて、読み聞かせコーナーを設置し、また1階に多目的トイレ、2階に男女別トイレを設置、階段の段差の緩和、1階屋上の防水シート張り替え等の改修工事を行う。また、利用者の安全性を確保するため補強工事を行う。
小串カタクリの里について	1	カタクリの花を守るため、キツネノカミソリを地域住民で駆除するなど色々な事をして守っているが、地域住民だけでは限界があるように感じる。市としての支援等姿勢を伺いたい。	毎年3月末には「カタクリ咲いた祭り」が地域の皆様の手により開催され、吉井地域の春の風物詩となっている。 今後もこうした地域の活動を継続的に支援するとともに、地域づくりの中心となって活躍いただいている区長さんと連携を密にしながらカタクリの里の保護、管理に努めていく。
	2	キツネノカミソリは群生していて綺麗であり、それを楽しみに来る人もいるので駆除しなくても良いのではないかと。	キツネノカミソリが貴重なのは承知しているので、カタクリの区域とキツネノカミソリの区域を分けて管理し、カタクリの区域では駆除していただいている。
農地の荒地化について	1	土地改良した農地や農道が竹等で荒れてしまっている場所がある。対策を伺いたい。	農地が荒れるのは、農業従事者の高齢化や担い手不足が原因であると思われる。 農地に対する対策として、担い手不足を解消するため新たに自立して農業を始める人や新規就農者を支援する「青年就農給付金」制度などを活用いただき、農業後継者の確保に努めている。 また、「吉井地域農地景観再生事業」などにより、荒地化の原因となる耕作されていない農地の解消、発生防止に取り組んでいる。 農道においては日頃から注意を払い、危険箇所の発見に努めており市民等から道路破損等の情報があった場合には速やかに対応し、修繕、維持管理をおこなっている。

事業名	NO	質 疑	回 答
農地の荒地化について	2	吉井地域農地景観再生事業等で補助していただくには、ある程度まとまった人数のグループや面積が必要となり、人間関係や規模等で補助事業となるのは難しいので、数人や小規模でも補助していただける事業を検討していただきたい。	補助事業としてはある程度、人数等確保して実施していただきたい。